

Global and Innovation Gateway for All

GIGA 通信

-児童生徒1人1台端末の日常的な活用に向けて-



発行元

佐野市教育センター

佐野市上羽田町1134番地1

電話 20-3108

20-3048(相談専用)

GIGA 端末は「クラウド利用」が原則であり、それが最大の特徴です。本市の GIGA 端末で利用する Google for Education には、データ共有の場となる Classroom や Web 会議システムの Meet 等、数多くの機能があり、これらを効果的に授業で活用し「主体的、対話的な深い学び」の実現に結びつけることが GIGA スクール構想では求められています。

今回は、これらの機能を様々な教育活動で利用する城東中学校の取り組みを紹介します。さすが中学校という取り組みです。

(1) コロナ禍の生徒総会で「ペーパーレス化」

昨年度、コロナ禍により校内放送と紙面で実施

した生徒総会を今年度は何か工夫ができないかという思いから、GIGA 端末を生徒総会に活用しました。配信



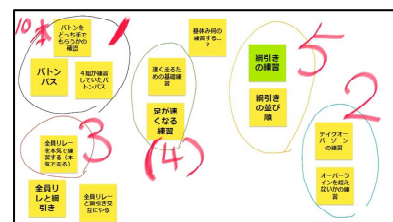
資料を全てデータ化し、クラウド上に配信された資料を全校生徒は端末で確認するという方法です。端末でデータを共有するため全生徒参加用「Classroom」を作成したそうです。また、放送のみでは盛り上がりに欠けたとの反省から、当日学級の代表が「Meet」で評議に参加しました。

生徒会担当の大嶋先生からは「総会の資料をデータ化することでペーパーレス化と省力化を図れることがわかりました。また、オンラインではありますが対面での評議が行え、昨年度とは一味違う総会になりました。来年度は、評決等にも利用していきたいと考えています。」という話を聞くことができました。

コロナ禍の中、GIGA 端末の特徴を生かした素晴らしい取り組みであると感じました。

(2) 「Jamboard」を運動会の話し合いに

「Jamboard」という機能があります。クラウド上のバーチャルなホワイトボードで共同作業を行うイメージです。本校では、運動会にむけた話し合い活動の中で



生徒がこの「Jamboard」を利用しました。リレーの選手を決めたり、作戦を立てたりする上でとても有効であったそうです。

情報担当の中村先生から「日頃発言を苦手とする生徒も書き込みという形で意見を伝えることができました。学活での「話し合い活動」での活用は有効であると思います。」とのお話を伺いました。なお、中村先生の英語の授業では、「スプレッドシート」でデジタル単語帳を作成したり、学びの振り返りに「e ライブラリ」を活用したりするなど GIGA 端末が授業で積極的に活用されています。

(3) 「便利さ」から「汎用性」に

島田校長先生から「生徒総会という形ではありますが、GIGA 端末の新たな活用方法を提案できたことは素晴らしいと思っています。今回の取り組みで、端末の「便利さ」を先生方も知ることができたと思います。校内で「便利さ」を共有化し「汎用性」につなげていくことが今後の課題になると思います。」とのお言葉をいただきました。

GIGA 端末により「ペーパーレス化」や「省力化」が図れたこと、「Jamboard」が話し合い活動で有効であることなど、「活用してみてもわかること」が数多くありそうです。今回のキーワード「汎用性」につながる取り組みを今後ご紹介ください。
(文責 教育センター所長)